



今回は、SGH事業と連携したPTA活動についての報告です。

◇ PTA進路研修会

～スーパーグローバル大学・金沢大学を見学～

日 時：平成28年9月6日(月) 訪問先：金沢大学、金沢工業大学

参加者：保護者90名、教員4名

目 的：大学のキャンパスを訪問し、大学での研究や学生生活への理解を深める。

PTA役員さんよりの報告： 本年は金沢大学と金沢工業大学を見学に行きました。金沢大学は文科省指定のスーパーグローバル大学で、3年生対象の校内オープンキャンパス（金沢大学オープンキャンパス・イン・関高）には、毎年、金沢大の先生方が関高で講義を行っています。総合大学ということでその敷地の広さに大変びっくりしました（写真左・中）。金沢工業大学では、きれいなキャンパスと24時間勉強のできる体制、きめ細やかな就職指導があると聞き驚きました（写真右）。



◇ 文化祭・ふるさとグルメフェア

～地域の特産品を見る、知る、味わう～

日 時：平成28年9月6日(火) 関高校文化祭 第1目 場 所：関高校駐車場

目 的：地域の食文化・特産品に親しむ場、地産地消の実践の場をもうけることによって、関高SGH活動のめざす生徒像のひとつ、「ふるさとの自然・文化・産業に愛着を持ち、積極的に地域の諸課題の解決に取り組む生徒」の育成に寄与する。

形 式：PTAによるバザー。関牛乳株式会社、NPO法人ぶうめらん、生徒会との連携事業。

PTA役員さんよりの報告： 保護者の立場から生徒たちに知ってもらいたい地域の名産品を用意しました。今年の販売品目は以下の通りです。明宝フランクフルト500本、同・上之柚子胡椒味200本、かき氷500杯（イチゴ・柚子胡椒シロップ・関牛乳練乳）、市内銘店のみたらし団子200パック（3本）、美濃末広屋アイス最中200個、PTAオリジナル企画・関高プリン500個、関名物・黒からあげ400カップ、武芸川つるむらさきうどん200食、関牛乳各種・ミルクサイダー500カップを販売しました。

大人気のオリジナル商品・関高プリンは、関牛乳株式会社（同窓生）と、地元の山田農園（同窓生）の新鮮な卵を使って、市内の障害福祉サービス事業所「だいち」にて製造していただき、販売のお手伝いにも来ていただいています。3年目を迎えた人気商品なので1時間で完売しました。



本校は、平成26年度から、岐阜県教育委員会よりスーパーグローバルハイスクールの指定を受け、「グローバル人材」の育成が図られています。そのため、「知・徳・体」に調和のとれた人間性豊かで、高い志とグローバルな視野をもって、将来、地域社会の発展のために貢献できる有為な担い手を育成することを目標とし、授業改善に向けた取り組み、国内外でのフィールドワークや研修、講演会など様々な活動が行われています。

そのような教育環境の中、PTAは我が子の成長を見守るだけではなく、積極的に学校行事に参加・協力し、先生や保護者同士の連携と共通理解を深めることにより、子どもの健やかな成長の支援をしていきたいと考えています。

SGH指定以降、多くが他地域へ進学する生徒たちに、地域をより知ってもらおうと、3年間継続して関高祭PTA事業の飲食バザー拡充に取り組みました。1年目は、明宝フランク、美濃末広屋アイス最中、PTAオリジナルプリン（関牛乳・山田農園のタマゴを使い障害福祉サービス事業所だいちにて製造）、2年目は、上之保柚子胡椒フランク、黒からあげ、生徒御用達店のみたらし団子、3年目は、かき氷シロップにゆず味を追加、関牛乳のミルクサイダー他各種飲料、つるむらさきうどんと、さながらB級グルメ祭りの賑わいとなりました。

また、18歳選挙権の始まった本年、「高校ぶうめらん」「市内飲料製造会社」「PTA」のコラボ企画として、企業商品を用いて本物の投票ブース投票箱を使い、人気味投票を実施しました。3者の思いを上手く達成でき、NHKをはじめTV新聞等で取り上げていただきました。

体育祭では、昨年からの課題となっていた「かち割氷の配付」を取りやめ、その費用で非常災害時用備蓄水を関市産へ入れ替え、古いものを冷凍して配付しました。今まで備蓄費用は入学時に徴収していましたが、次年度より防災備品の拡充に回す事が出来るようになりました。

また、校内PTフォーラムでは、卒業生でかつ、事業継承者ではない、Uターン経営者等、地元リーダーとして活躍されてお見えになる2名にその原動力になった事や、地域の魅力についてお話いただく事にしました。

従来の活動と共に、SGHなど生徒たちの学習にPTAもより積極的に関心を持てるような取り組みを今後も進めていきたいと思えます。高校3年間は、親にとって子どもと正面から向き合うことのできる最後の子育て期間と言えるでしょう。高校を卒業すると、子どもは一気に親元から羽ばたいていきます。だからこそ、親として子どもと共に高校生活を見つめ、かけがえのない3年間を共に楽しみ、学んでいきたいと思えます。

そんな中で、PTA活動は重要な役割を果たすこととなります。PTA行事は、学校の先生と会員を結び、家庭では見られない子どもの姿を見ることが出来る大切な場となります。また、先生方にとっても、会員と接することにより、親が学校に対して何を望んでいるかを知っていただける良い機会にもなるでしょう。

これからも関高PTAは、先生方との連携を大切にしながら様々な活動に取り組んでいく中で、子どもの健やかな成長を支援しつつ、同時に自らが親としても成長していけるように努めていきたいと考えています。